



## 【戦評シート】

|                            |                                 |                           |
|----------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 平成23年8月10日(水)              | 協会名：秋田県バスケットボール協会               |                           |
| 場所：琴丘総合体育館(Aコート)           | 記入者：武田 憲 大山 豊                   |                           |
| チームA<br>白河中央 78<br>(福島 1位) | 20-17<br>21-20<br>20-7<br>17-14 | チームB<br>八乙女 58<br>(宮城 1位) |

|                   |  |
|-------------------|--|
| スターター             | チームA： #4, #5, #10, #11, #12  |
|                   | チームB： #4, #5, #6, #8, #10  |
| ディフェンス<br>(試合開始時) | チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) |
|                   | チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) |

2連覇をねらう白河中央と初優勝を目指す八乙女の決勝戦となった。

第1ピリオド、両者マンツーマンディフェンスでスタートする。白河中央は、#10 齋藤のゴール下シュートで先制し、その後も、持ち前の機動力を生かした速いゲーム展開で、#4 高田を中心とする鋭いドライブや#11 遠藤のカットインシュートで得点を重ねる。対する八乙女も、相手の厳しいディフェンスの隙をつき、#6 森、#4 小松、そして#8 細貝の計5本の3Pで応戦し、白河中央 20-17 八乙女で終了する。

第2ピリオド、白河中央は#4 高田のゴール下や速攻の連続得点で自分たちのペースに持ち込み、28-22とリードを広げる。一方、八乙女も流れを引き戻すために、残り4分11秒で、チャージドタイムアウトを請求する。その後チームは落ち着きを取り戻し、#5 角田のジャンプシュート、#8 細貝の3Pで加点し、32-32の同点に追いつく。その後も、一進一退の攻防が続くが、終了間際#10 齋藤#11 遠藤の連続得点で41-37の白河中央4点差リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、白河中央は、相手の#5 角田にフェイスガードするなど、さらに激しいディフェンスをし、ゲームを優位に進めようとする。その結果、#10 齋藤#11 遠藤の連続得点などで、チーム全体に勢いがつく。残り4分13秒で、55-42とリードを広げられた八乙女は、たまたずチャージドタイムアウトをとり、ディフェンスを2-2-1のゾーンプレスにし、リズムを変え自分たちのペースに持ち込もうとするが、白河中央の勢いは止まらず#4 高田、#11 遠藤、#5 國井の連続得点で着実に加点し、白河中央 61-44 八乙女で終了する。

第4ピリオド、追いすがる八乙女は、#8 細貝がこのゲーム7本目の3P、#6 森、#14 鈴木がシュートを決め、必死に食いさがるが、思うように加点できない。一方、白河中央は、すばらしい運動量で、最後まで足が止まることなく自分たちのバスケットを貫き、東北大会2連覇を達成した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。